

☆子どもの権利条約 ワークショップ（実施案）

◎設定・条件

- ・場所…井上さん・中川さんの協力を得て、「マイケルハウス」で行う。
- ・対象…小学校の高学年？
- ・人数…3～4人くらい？
- ・時間…1時間くらいか？
- ・

◎内容

- ・「オークション」

◎ねらい

- ・子ども達は、自分と他の子ども達との、考えや物事のとらえ方の違いを知ることができる。
- ・大人は、子ども達に「権利」というものを意識してもらう。その端緒とする。

◎使うもの・用意するもの

- ・ワークシート1枚、振り返りシート1枚？
- ・鉛筆人数分
- ・オークションの開始・終了を知らせるベルがあれば…

◎進め方

①まず子ども達に質問する。「みんなは、今、一番どんなことがしたい？」

*例えば、「私は…（おいしいものが食べたい、車でドライブに行きたい）」

「井上さんはどうですか？」 →例をいくつか挙げ、イメージを持たせる。

- ・「〇〇君は？」「それはどうして？」と指名して、一人一人発表してもらう。

②ところで、これらのしたいことを実現するためには「権利」が必要。

*例えば、〇〇する権利。〇〇の権利など。

③ここで、ワークシートを配って、

- ・「この中には色々な権利が書いてあります。例えば…いつでも好きな人に会える権利など」

*ここに、さっき自分でほしいと思った権利を書いてみよう。（1～3個）

- ・これから「権利のオークション」をします。みんなに、自分の欲しい権利に値段をつけてもらって、一番高い値段を付けた人がその権利を「落札」することができ、もらえます。

- ・みんなに16000円あげます（1万円札、5千円札、千円札）ので、この16000円を自由に使って、ほしいものを1つでも2つでも「落札」してください。

- ・では、まず、自分が欲しい権利を3つ選んで、番号に○をつけてください。

*どうしても2つしかなければそれでもいいし、どうしても3つほしければそれでもOK.

*ちょっと時間をとり、子ども達の書いている様子を見る。

- ・では次に、その3つのものに値段をつけてください。

- ・16000円持っているので、一番欲しい権利に1万円、二番目に5千円、三番目に千円をつけて下さい。そして、一番多くのお金を出した人が落札して、手に入れることができます。

④ではいよいよ「オークション」の始まりです。

- ・まず、No.1の「いつでも好きな人に会える権利」が買いたい人は、手を挙げてください。
- ・では、1000円なら買う人？
- ・5千円出す人はいませんか？ 「はい〇〇君5千円です。」
- ・1万円出す人はいませんか？
- ・では、この権利は、〇〇くんが5千円円で落札しました。〇〇君はNo.1に○をつけて下さい。
- ・みんな、シートのNo.1のところに5千円と書いてください。

*こんな風にNo.10までやっていく。

⑤これで「オークション」は終わりました。

- ・それぞれいくつ落札できましたか？
- ・一番高い値段で落札されたのは、何でしたか？ それは何故だと思いますか？
- ・一番安い値段で落札されたのは、何でしたか？ それは何故だと思いますか？
- ・沢山の人が参加した項目は何でしたか？ それは何故だと思いますか？
- ・このシート以外にほしい権利がありましたか？ それは何故ですか？
- ・気付いたことや感じたことは何ですか？

⑥「振り返りシート」に感想などを書く。